

# 炭素中立社会へのシフト! 気候安心都市 金海

金海（キムヘ）市は、政府の「2050炭素中立宣言」に基づき、温室効果ガス削減を通じた炭素中立の実現および気候変動適応事業を進め、市民が気候危機の心配のない「気候安心都市」金海を目指し、炭素中立社会へのシフトを持続的に推進する計画です。



# 01

## 炭素中立社会へのシフトに向けた中核戦略を策定し、気候変動に先手対応へ

金海市は「気候安心都市 金海」をビジョンに掲げ、「2050炭素中立」と「地球気温1.5°C上昇に備えた気候変動適応基盤づくり」を目標に、炭素純排出のゼロ化、低炭素産業および技術の造成、気候危機への適応および柔軟性の強化という3大中核戦略のもと、18の部署が13の推進課題、65の詳細課題を策定・施行することにより気候危機に先手を打って対応していくことにしました。

# 02

## 中核戦略 1. 炭素純排出のゼロ化

エネルギーを多く消費する環境基礎施設に対する太陽光発電施設の設置事業を推進しました。花木（ファモク）清い水循環センターを含む5ヶ所の遊休敷地に太陽光発電施設を設置し、炭素排出量を削減しました。

そして、道路・輸送部門における温室効果ガス削減のために、公共交通機関のエコカーへのシフトおよび充電基盤の構築に力を入れています。まず、従来運行している30台の路線バスを電気バスに替え、エンジン自動車の水素・電気自動車へのシフトを促すためのインフラ構築にも注力しています。また、韓国ガス公社と業務協約を締結し、金海水素ステーションを建設、2021年7月から営業を開始しました。さらに、老朽化したディーゼル車の廃車支援事業を通じた温室効果ガスの削減も推進しています。

太陽光発電施設、環境にやさしい交通システムへの移行、運行車両の排出ガスの削減により、これまで約7,800tCO<sub>2</sub>の温室効果ガスを減らしてきました。

また、都市構造物の立面緑化やと産業団地入居企業内におけるスマートガーデンボール（Smart Gardenball）設置事業など、生活密着型都心の森造成事業を推進し、炭素吸収源を拡充しています。

さらに、金海市の進永（ジンヨン）地域の気候環境問題を解決するために、スマートグリーン都市事業も推進します。遊水地のスマート生態復元および非点源汚染削減事業、廃線敷地の環境回復などの事業を推進することで、温室効果ガスの削減だけでなく、都市の生態系も回復することを期待しています。



環境基礎施設への太陽光発電施設の設置

## 03

### 中核戦略 2. 低炭素産業および技術の造成

---

金海市は中小企業の多い地域であり、大気汚染物質をより効率的に処理するために、小規模事業場への大気汚染防止施設設置支援事業を進めています。105ヶ所の老朽化した大気汚染防止施設を交換・改善することにより、ホコリを60%、全炭化水素を50%削減する効果をもたらしました。ガソリンスタンドのオイルミスト回収設備設置を支援し、オゾンや粒子状物質を生成する主な前駆体を回収することで大気質を改善しています。また、企業環境施設改善資金への利子補助金支援を通じて環境施設改善事業を促進しています。



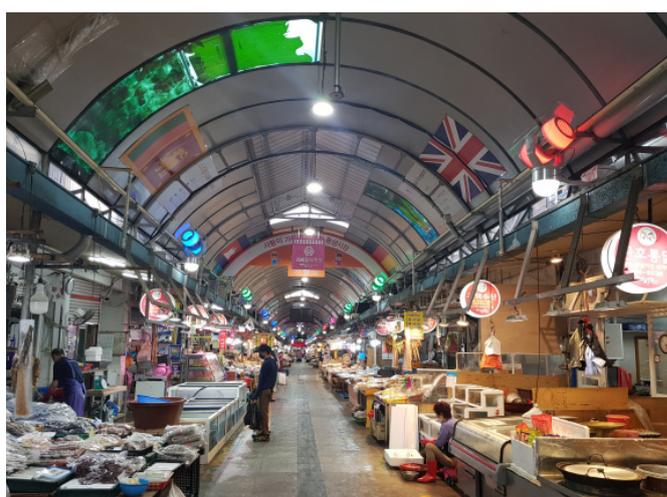
小規模大気汚染防止施設設置支援事業

## 04

### 中核戦略 3. 気候危機への適応および柔軟性の強化

---

気候変動から社会的弱者を保護し、気候変動適応能力を向上させるための支援事業を推進しています。まず、進永邑旧都心地域の社会的弱者支援事業を実施しました。子どもや高齢者など気候変動に弱い人々が住む老朽建築物に対する遮熱事業、高齢者利用施設である敬老堂の断熱事業、子どもの遊園施設にクール憩いの場を造成するなど、気候変動適応基盤づくりを図りました。在来市場にはクーリングフォグシステムを設置し、商人や利用客が猛暑に備えられるようにしました。また、社会的弱者に対する実質的な猛暑緩和対策として、一人暮らしの高齢者38世帯に窓型エアコンを、70世帯に対しては猛暑対応物品を支援しました。



猛暑を緩和する遮熱(クールルーフ、クールウォール)施設・在来市場のクーリングフォグシステム

また、市民の炭素中立実践を誘導するための広報キャンペーンを拡大推進しました。地球の日を迎え、官民のほか多様な階層から炭素中立実践宣言に参加して意志を固め、市民の認識を向上させるためのさまざまなオンライン・オフラインのキャンペーンを通じて炭素中立実践の重要性を発信しました。

集合住宅、保育園、幼稚園などが参加する市民主導の炭素中立生活実践事業「炭素中立生活実践公募事業」も推進しました。温室効果ガスの削減や炭素中立生活実践活動を展開した60の参加団体から12の優秀団体を選定し、授賞式も行いました。

金海市気候変動広報体験館では約20,000人の市民を対象に気候変動と炭素中立に関する教育を実施し、幼稚園や小中高校生を対象に「気候キーパー教室」を運営するなど、対象に合わせた気候変動教育を通じて市民の気候認識を深める取り組みを行いました。また、ウィズコロナの時代を迎え、「部屋の気候学校（\*非対面体験活動）」、「エコ主婦環境教室」など非対面・オンライン中心の多様な環境プログラムを先導的に導入しました。



市民の認識を高める炭素中立生活実践宣言および気候キーパー教室

今後も官民協力を通じた市民中心の炭素中立生活実践運動を持続的に推進していく予定であり、気候変動対応計画の策定と、長有（チャング）図書館炭素中立先導モデル事業およびスマートグリーン都市事業の本格的な推進を通じて、金海市がグリーンニューディールと気候危機対応において先導的な役割を果たすことを期待しています。